

長期投資家の皆さまへ

米国経済に景気減速を示すデータが重なって来たことで、秋の利下げを織り込み切った楽観相場の焦点が実態景気の先行き不安に移り始めたことから、ハイテク株牽引による高値圏からの調整につながったのでしょうか。

他方日本では、日銀の利上げが相応な円安の修正を呼応させて、輸出企業の利益下押しに瞬発的の連鎖調整ですが、今日的大幅下落はそれに加えて国内金利の上昇基調を前提とした、需要減退→デフレ回帰まで市場が意識し始めたリアクションだと推察します。

1ドル=160円台の極度な円安は、国民生活の窮乏化を加速させることになり、利上げは不可避と自身は想定していましたが、市場はそれを織り込んでおらず動揺が値動きに反映されたと言えましょう。

しかしむしろ適温相場が最高値圏への急上昇を演出したここまでから、ルーティンとしての価格調整局面に入ったことで、市場プレイヤーの淘汰が起こり、0.25%とは言えゼロから金利ある日本に戻ることこそが正常化の始まりと考えるべきで、やがてそれを所与とした市場価格水準に落ち着くはずで。

私たち長期投資家は、マーケットの短絡的過剰反応を常に俯瞰し客観視して行ける立場です。今日一日の相場下落は決して投資対象企業の事業価値を損なうわけではなく、将来に向けた企業の付加価値を生み出すチカラをしっかりと見極め検証する長期投資家目線で、なかのアセット運用チームも再確認しています。そしてそこへの確信度が変わらぬ限り、短期的な相場変動はゆったりのんびりと乗り越えて行くのみです。殊に積立投資家はニコニコ出来ることでしょう。決してジタバタしないことが肝要です！

なかのアセットマネジメント代表
中野 晴啓

【ご留意事項】

この資料は情報提供を目的として、なかのアセットマネジメント株式会社によって作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。

また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資信託に関するリスクについて】**基準価額の変動要因**なかの日本成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リス

ク」「流動性リスク」「集中投資リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価

額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。

なかの世界成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リス

ク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているも

のではなく、基準価額下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は全て投資者の皆さまに帰属します。

商号：なかのアセットマネジメント株式会社（設定・運用を行います）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3406 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会